常磐文藝

夏菊

葉山和郎

さ庭に
今年も、また
夏菊は咲いたよ、
うすもゝ色の花
嬉しげに咲いたよ、
君がパラソルのごと
嬉しげに咲いたよ。

夕暗

葉山不二夫

ゆるやかに流るゝ
鐘の音に
日は靜けく
暮れて行く。
木蔭にも
葉蔭にも
夕暗は訪れて
たゞ散り殘りし
白き花のみ
乙女の脛の如く
クッキリと
眼にうつりぬ。

夏衣陳列
粋な柄の
地衣浴ッーポス
たかゆ優女好み
スタ一
入駒中形　中外形　種數廿形
すまゐ願を命用御ひ
どうぞ御用命を願ひます
平三丁目
亀田屋

ユラノスケ粕取燒酎發賣
二合白瓶　貳拾五錢
(空瓶交換仕候)
平町四丁目平驛通り
永山酒造店小賣部
電話二〇七番

西洋乃鮨

外科
花柳病　専門
本村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

新築移轉
耳鼻咽喉科專門
氣管食道科
平町南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院

耳鼻咽喉科專門
場所(舊診療所裏通り)
合津醫院
平町仲田町(電話五五九)

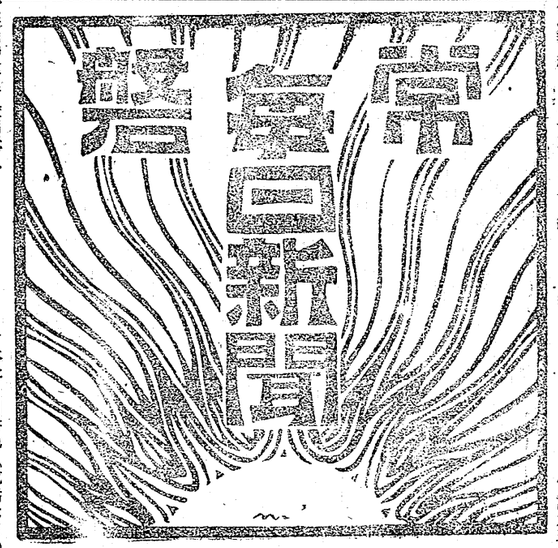
◆開業披露◆
歯科
口腔外科
歯科一般
平町古鍛冶町八十八
神谷歯科醫院
日本歯科醫學士　神谷辰夫

外科
專門
光線科
入院應需
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

一年一回
丸はんの藏拂ひ大賣出し
——來る九日より十五日迄——
堀出物澤山……お早いが勝ち
タンス、家具、雜貨　平町三丁目
各國産漆器一般
藤製品、夏家具類
丸はん
電話三五九番

◇十二日ヨリ上映　プログラム
松竹蒲田大作
柳さく子　藤野秀夫……主演
悲曲　海に叫ぶ女　全
助演者……國島莊一　久米順子　其他
弟の爲に其身を賭して其の生涯を涙に送る柳獨占久方振りに見る大悲劇です
原監督作……サイレン　毎日デー
牛　葛楠尾　木英上　香二桃　一郎華
母を異にせる兄弟がある勤王と佐幕新思潮の……外來維新開化の潜行運動時元治元年七月會津城跡に
酒横森　井山田　米蓮　子平肇
なく憂愁の士
原作脚色……清水宏
大……辻特輯
佛次郎　吉號　氏載
市川右太衛門(松竹提供)
原作……山口天龍　監督長尾史錄入社第一回作
寛文年鑑　助演中村吉松　高堂國典　巴蝶子　梅田菊造
水野十郎左衛門　全
德川四代寛文の頃でした。四谷六方白柄組水野一味と賣俠を事とする町奴と意氣地と張りで賣出した柳橋の名妓とを綴る名作
◎近日上映(東京行進曲)(沓掛時次郎)
平館　電話四六六
土曜日　學生デー　中小學生二〇〇　學生一〇〇　日活松竹

大正十二年十一月八日　第三種郵便物認可
常磐毎日新聞　(第一千六百四十二號)(一)



七月十一日夕刊
日刊
定價　一部金貳錢　一ケ月壹圓(郵稅五錢)
廣告料　五號十二字詰一行一日五十錢
休刊日　毎月大祭日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三五　發行所　常磐毎日新聞社　電話六三〇番
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
本社ト同番地(電話六三〇番)
印刷所　常磐毎日印刷所

寄書

藝術始源に關する一考察(一)

吉田九郎

支那人が野と云ふ語に對して文と云ふ語を用ふる一事からでも、吾人は文學が引いては藝術が、人類文化の一定段階以後の産物であると事を直感的に知り得るであらう。

彼のマルサスの「人口論」を始め社會學、土俗學等の指摘する所によれば十九世紀末葉に於てすら、世界の一部分には物質的生産力の不足のために一定數外の小兒を殺す地方があつたと云ふ

又姥捨山その他の傳説からも知り得る如く、昔は老人を深山に遺棄した事があつた。

此の樣に社會の物質的生産力が未だ幼稚であつて全ての人々が終日の勞働の結果かつかつたに衣食してゐた時代には固より藝術等の生れ出よう筈がなかつた。

それが假令いかなる幼稚な形式に於てであらうとも、とにかく製作せられ得るに至つたのは物質的生産力が遙かに向上した時代でなければならない。

然し乍ら無から有は絶對に生じ得ない。藝術は生産の相當向上した社會に生れたものではあつたが、それを生むべき萠芽は、己に既に生産力の幼稚な時代から伏在してゐたと考へねば不合理であらう。

此の事は何を意味するか、それは英語や佛蘭西語のartが、一方に於て藝術を他方に於て技術を意味する事からも知られる樣に藝術といふ、直接には生産力に關係のない一形式が相當餘裕ある生産力を有つ社會に天降つて來たのではなく藝術が經濟生活そのものから派出して來た事を示すものである。

◇　◇

折角の小名濱商港 無慘！葬り去らる

緊縮方針の美名を籍りて 突如、中止命令……

現内閣はその一枚看板である緊縮方針の美名に基き目下大藏省で實行豫算の編成中であるが過日閣議で決定した申合せによつて内務省では今回本縣の小名濱港の修築事業に對し仙臺土木出張所を通じて事業の中止命令を發したその條項左記の如し

一、現在までに機械の購入を終つたものはこれを認めるが今後は一切購入せざること

一、これまでに雇入れた事務員に對しては失業救濟の意味において一ケ年分の給料を支給する但し今後は一切雇入れないこと

昨夜深更まで 鳩首協議を遂ぐ

小名濱町議大擧上京

商港修築の中止命令發せられた小名濱町に於ては昨夜八時から同町役場樓上に町會議員及び町有志參集協議會を開いたが其結果直ちに町民大會を開き決議文を濱口内閣に突き付けて飽迄現内閣を糺彈せねばならぬとの硬論可成に多くを占めたが一先づ極力陳情して後内閣の方針を見て最後の態度を決せんとの事に一致し同夜十二時十三名の町會議員が自動車に分乘平町に至り午前二時卅三分平驛發上り列車に依り上京先發の鈴木町長の一行と共に内務省大藏省等に陳情し閣議前の猛運動に着手する事になつた

上を下への 大騒ぎ

小名濱有志談

商港修築に對し中止命令發せらると聞いて小名濱町民は非常なる狼狽を來し上を下への大騒ぎで今後同問題の推移如何に依つては如何なる事態を釀すやも知れぬ形勢を示して居るが有志は語る

『目下の處では中止命令との擧であるから今後の内閣の方針如何に依つては或ひは浮み上がれぬものでもあるまいと一縷の望みを抱き矢繼ぎ早に猛運動を開始する積りです、若し我々の意志が貫徹されず全然放棄さるゝ樣な事があれば實に我々の死活問題で縣下産業界の受くる打擊も甚だ大であると信じます、濱口内閣は緊縮整理に名を藉りて既定計畫を迄も根抵的にくつがへし地方に不利を負はせしむるも顧みずといふに至つては到底ダマッテ忍ぶ譯には行かない』

國大巡廻講演

國學院大學辯論部では思想善導を目的で巡廻講演を各地に開催しをり二十日平町公會堂に於て同大學辯論部長松永林氏外學生數名出席熱辯を振ふ由である

本省はゴッタ返し 今度の陳情は瀨踏み

遠藤平町助役の土産談

平町上水道擴張工事施行並に工費起債認可促進陳情のため上京し内務省に膝詰談判して十日朝歸つた遠藤助役は陳情の顚末につき語る

政變直後で内務省がゴッタ返して居るのと政府の緊縮方針が確立しないためで確答をさけてゐたので今度の陳情はほとんど瀨ぶみに過ぎなかつたから政府の方針確立を待つて再び上京陳情する事にしたが然し水道擴張は他の問題と異るため認可せられる確信を持つてゐる

平稅務署長 榮轉と決定

一兩日中に發表

平稅務署長岡部掬氏は榮轉に決定一兩日中に大藏省から發表される模樣であるが縣下の各稅務署長中にも大分更迭があるものと見られて居る

岡部氏は大正十三年十二月着任後足かけ六ヶ年間石城郡下の徵稅改善に當り同氏の行績は歷代署長中の第一人者であると

石城 神職講習

卅日から一週間

石城郡神職會は三十日から八月六日までの一週間平町第一小學校において神職講習會を開催する筈である

製炭業者の 反對に一擊

官營製炭賛成

濱三郡木炭同業組合が多額の經費を投じて猛烈な官行製炭反對運動を續けてゐる矢先石城郡植田町の新炭商以外の各種商人組合では官行製炭で打擊をうけるのは一部の製炭業者と新炭商だけで町民の大部分は多數の人夫がいり込むため大いに利益があり町の發展上至極好都合であると皮肉にも事業の促進と擴張運動を開始した

舟漕ぎ競走

鮫川村の名物

石城郡錦村鮫川誘揚會主催にて來る十四日鮫川橋より下流佐糠邊迄の間において舟漕競走を開催するが數十艘の舟入れ亂れての競走の事とて今から非常な人氣を呼んでゐる

社告

『札幌市北五條西十六丁目一、志賀』樣宛に最近の本紙五部を御郵送なすつた方がありますが『取調不明』の附箋が付いて本社に戻つて來て居ります、お預りして置きましたから差出人は第一報願上げます

募集

文藝其他投稿を募集します

家庭欄

吳竹胡瓜

胡瓜、赤貝各六寸夊づゝ、鹽、酢、砂糖、煮出汁、昆布少量（三人分）

胡瓜は極く薄く荒皮を剝いて芯を拔き、少量の鹽をふつて暫くの後洗つて水氣を切り、赤貝は殼を放してから内臟を去つて笊に入れ一摘みの鹽を撒つて笊を手早くゆすぶり、充分ぬまりが出たら水洗ひして、布巾に包み、丁寧に水氣をぬぐひ再び一摘みの鹽をふつて微塵切りとしこれを前の胡瓜の中に充分に詰め込み、煮出汁昆布で包んで輕い壓しをかけ、約二十分間經つたら昆布から取り出し、小口から五分切りにして、酢と砂糖を好みに應じて混ぜ合せたものをかけます

有利な桃の罐詰

神谷村に大々的に製造

石城郡神谷地方における桃の栽培は昨今著しく增加し生産においても本縣有數の産地に數へられゐる從來の販賣方法は主に生果を市場に出荷してゐたが販賣に當つては生果は荷造り運搬等の不便のみならず經濟上より見て非常な不利益をもたらすので本縣農事試驗場神谷分場では罐詰製造方法を數年前より實驗指導の任に當つてゐたが製造方法に好績を收めたので本年度より大々的に製造を開始すべく目下種々準備中でありますとして置けば季節を論せず隨時移出する事が出來實施の曉は同地方の有力な財源となるのみならず農産製造の普及ともなるべく一般同業者各方面から大いに期待されてゐる

出炭制限よ 磐炭に好調か

礦主會注目さる

財界不況に祟られて苦況に陷つてゐる常磐炭界ではこの窮狀打開のため木曜會主唱の下に協調出炭制限を繼續し炭の維持に努めた結果昨今幾分好調を呈してゐるが協調期間は七月下旬までゝ協調違反に對しては懲罰してゐる現在ですら出炭增加を計つてゐるほどである から協調期間終了と共に又ぞろ出炭競爭が始まるだらうと豫想され、前途憂慮されてゐるが來る八月中開催される礦主會において出炭制限延長の協調が出來ればこの苦況も拔けられるのであるが礦主會のなり行は炭礦方面ばかりでなく炭礦に來つて景況を支配されてゐる常磐地方一般から非常に注目されてゐる

乘客は增加

平驛去月成績

平驛の去月中に於ける乘降客は乘客六萬一千百八十九人降客五萬九千三十人で昨年の同月に比較し各五千人宛の增加で此の收入二萬二千九百四十九圓餘同じく貨物は發送四千三百五十二噸到着一萬七千二百噸昨年と大差なく收入が約四千圓減少してゐる

木炭同業 組合の窮狀

未納者續出

濱三郡木炭同業組合では昨今木炭界の不況に當面し各營業者等塗炭の苦境にあり二千六百人の組合員中本日迄既に二百餘人の脫會者を出し尙一ケ年僅か一圓の組合費納入さへも差支へ二三年度未納總額七百圓本年度納額一千餘圓に達して居るので組合經營上にも支障を來す狀態なので近く委員を擧げ未納組合費の整理に取掛る事となつたが今や同組合の窮狀は目も當てられぬ有樣である

明日の報豫　天氣　南西の風　曇り勝ち